



児童数配布

富士見台

<http://www.fujimidai-e.nerima-tky.ed.jp/>

学校教育目標 かしこく やさしく たくましく

学芸会 ~今できることを~

副校長 白井 清孝

10月14日(金)の児童鑑賞日、15日(土)の保護者鑑賞日、2日間にわたる学芸会が無事終わりました。

保護者の皆様におかれましては、衣装の準備、お子様の体調管理、保護者1名だけの入場、学年入れ替え制など多方面にご協力いただき、ありがとうございました。

学芸会を行うにあたり、①舞台上での密状態を避ける、②練習時間を確保する、といった2つの基本方針を定め、準備を進めてまいりました。

具体的には、劇を場面ごとに学級で演じるようにして学級で練習できるようにしたことや場面の入れ替わりを振り付けの工夫でスムーズにしたことなどがあります。

感染拡大防止策により、従来の学芸会よりもたくさんの制限がありましたが、今できることを考え、工夫することで、子供たちが練習してきた成果を発表する機会を保障することができました。子供たちは制限下においても、台詞を何度も口ずさんで覚えたり、劇中歌を廊下で口ずさんだりしていました。練習を重ねていく中で、劇を見ている人が場面をイメージしやすい振り付けを自ら考え出したり、自分が役になりきるよう衣装の装飾を工夫したり、自分たちの力を最大限発揮していました。本番では、練習の成果を発揮し、堂々と演じる姿に感動するとともに、子供たち一人一人の大きな成長を感じました。

さて、学芸会を終えた子供たちは、来年度の50周年行事に向けた取組を既に始めております。

富士見台小をよりよくするために、代表委員会を中心に話し合いを重ねたり、ピオトープの改善など委員会独自の活動を展開したりしています。「みんなが好きな」富士見台小に感謝の気持ちを表したり、富士見台小がより発展するための取組が徐々に開始されたり、子供たちの生き生きとした活動が増えてきました。

感染状況が未だによくならず、制限された中での学校生活ではありますが、子供たちが「できること」を懸命に行う姿はとても美しく、たくさんの輝きを放っているようです。

「できないことはたくさんある、でも、自分たちの工夫次第で、できることを創り出すことができる」と子供たちは私たち大人にも教えてくれているようです。

今回の学芸会でも子供たちは多くの成長を遂げていました。その後も休むことなく来年度を見据えた、見通しのある取組もスタートさせることができました。私たち大人を含め、「今できることを」、富士見台小に関わる全ての人が考え、実行していくことが、富士見台小の発展につながると私は強く思います。

今後も富士見台小学校をよろしく願います。

日	曜	朝会	11月の行事
1	火	全校	読書旬間(始) いもほり体験(1)
2	水		
3	木		文化の日
4	金		生活科見学(1) いもほり体験(2)
5	土		
6	日		
7	月	安	巡回心理士巡回日
8	火	全校	
9	水		お話会①(1・2・3)
10	木		薬物乱用防止教室(6) 竹馬チャレンジ(始)
11	金		お話会②(1・2・3)
12	土		学校公開日 練馬美術館鑑賞教室(6)
13	日		
14	月		クラブ⑥
15	火	全校	社会科見学(5)
16	水		
17	木	児	
18	金		クリーン運動(2・4・5) 石東中オンライン交流(6) 読書旬間(終)
19	土		
20	日		
21	月		クラブ⑦
22	火		生命の安全教育(3・4)
23	水		勤労感謝の日
24	木		生命の安全教育(5・6) 避難訓練
25	金		社会科見学(6)
26	土		
27	日		
28	月		委員会(12月分)
29	火	全校	富士見台フェスティバル
30	水		午前授業
12/1	木	児	
2	金	安	社会科見学(4) 巡回心理士巡回日 クリーン運動(1・3・5)
3	土		
4	日		
5	日		クラブ活動⑧

学芸会を終えて～各学年より～

【1年生】

1年生は、「演じる自分たちも見ているお客さんも楽しい劇をみんなでつくろう。」というめあてを立て、劇の練習をスタートしました。広いステージで大きな声でセリフを言ったり、ダンスを踊ったり・・・すべてが初めてでしたが、一生懸命に練習に取り組む姿が輝いていました。劇のお話同様、お互いを思いやりながら、協力することの大切さを学ぶことができたと感じています。88人で力を合わせてやり遂げたこの経験を自信につなげ、さらに成長していきたいと思います。

【2年生】

2年生にとっての初めての学芸会の劇は、国語で学習した「スイミー」でした。声の出し方、動作の仕方は、自分たちなりに考えて役になりきって演じました。練習では、友達の演技を見て毎回よいところを見つけ発表し合うことができました。みんなと違った個性があるスイミーのよさを尊重すること。みんなで力を合わせて、何かを成し遂げることの達成感。それらのことを、実生活の中でも大切にしていってほしいと願います。

【3年生】

演目が明るく楽しい内容だったこともあり、楽しみながら練習に励み、生き生きと演技する様子が印象的でした。練習では、友達の良いところを伝え合ったり、演技を考え合ったりと主体的に活動しました。学芸会を通して、友達を思いやる姿や、周りに目を向けて行動する姿が多く見られるようになり、成長を感じます。学芸会で学んだことを生かせるよう、今後につなげていきたいと思います。

【4年生】

4年生は、振り付けや台詞を考えたり、声を出していないときの動きを友達と相談したりして、自分たちの力で劇を作り上げることができました。観客の立場になって考え、話す速さや滑舌、身体の向きなども工夫できました。この学芸会を通して、主体的に相手意識をもって工夫したり、何事にも全力を尽くしたりする姿勢が多く見られるようになってきました。半年後の高学年への進級に向けて、さらに成長していきたいと思います。

【5年生】

5年生は、「セリフを大きく、みんなで協力する最高の演技をしよう」をスローガンとして、実行委員会を中心に学芸会練習を行いました。1ヶ月前に移動教室もあり、短い期間の中での練習でしたが、一つ一つ真剣に取り組んでいました。自分たちで照明や音響を行い、支え合いながら学芸会を行うことができました。自分のことだけでなく、友達のことや劇全体のことを考えて行動している様子は、高学年として立派でした。

【6年生】

「Change～自信をもって楽しく、感動を与えよう」の学年スローガンを胸に、本番を迎えました。本番を終えた子供たちを見ていると、達成感を感じ、仲間と協力するよさや一生懸命取り組む楽しさを味わえたように思えます。また、最高学年として全校をリードできたことも達成感につながったようです。学芸会から学んだことは、数多くあり、6年生が大きく成長するきっかけとなりました。学芸会で伸ばした力を今後につなげていきます。

～委員会活動紹介①～

本校では、5年生以上の児童で委員会活動を行っています（代表委員会のみ4年生も参加）。様々な委員会に分かれ、話し合い・協力をして活動しています。自分たちの学校生活を自分たち自身でよりよくするための活動を通して、自主性や主体的な意識を高めていきたいと考えています。（12月号で続きを掲載いたします。）

【代表委員会】

「富士見台小フェスティバル」を今後も残していきたいという思いが通じ、今年度は富士見台小フェスティバルが復活します。コロナ禍でもできる形はどのようなものか話し合いを重ねてきました。また、新たな取り組み「私が好きな富士小」では、全校児童に富士小の好きな場所を撮ってもらい、12月に校内掲示できるよう準備を進めています。（小島・高木）

【運動委員会】

体育の授業が気持ちよく行えるように、体育倉庫の掃除を行っています。また、富士小レガシーとして、運動の日常化を図るためのチャレンジ活動の内容を考えたり、全児童が道具の場所が分かるように、体育倉庫の道具の場所をまとめたりと新しい活動も取り組んでいます。（樫村・岩崎）

【環境委員会】

ビオトープをはじめとした校内の自然が、子供たちにとってより親しみやすいものになるよう活動しています。そのために、富士小レガシーの一環として、ビオトープの田んぼ横のエリアの再生を図っています。みんなの憩いの場となるような場所にしていきたいと思います。（高井・菊池・神谷）

【給食委員会】

給食委員会では、献立の黒板を記入したり放送で給食目標を知らせたりしながら、全校児童に食について興味をもってもらえるように仕事を進めています。富士小レガシーとして、後片付けの工夫に関して全校一人一人が意識をもてるように、全クラスに呼び掛ける活動も始めています。（三原・寺橋）